

輸血・移植免疫検査学演習

単位数：1単位(15時間)

責任者：専任教員
学年・学期：第3学年・前期／後期

◆一般目標(GIO)

本演習は輸血・移植免疫検査学を対象する。臨床検査技師国家試験出題基準に沿って学習し、臨床検査技師として医療の場において、輸血・移植免疫検査の業務を実践できる知識を修得することを目的とする。

◆到達目標(SBOs)

1. 輸血と免疫検査：A.血液型と同種抗原(遺伝子型を含む)、B.変異型と後天的変化、C.輸血前検査、D.血液型の同定、E.赤血球不規則性抗体の同定、F.血小板抗体の同定、G.血液媒介感染症の検査
2. 輸血の安全管理：A.成分輸血療法の意義と適応、B.供血者の選択、C.患者と供血者間の適合性、D.輸血に伴う副作用・合併症、E.自己血輸血、F.輸血血液の保存と管理
3. 移植の免疫検査：A.移植前検査、B.造血幹細胞移植
4. 妊娠・分娩の免疫検査：A.免疫学的妊娠反応、B.血液型不適合妊娠
5. 検査結果の評価と対策：A.評価、B.対策

◆学習方法

前期：各自の臨地実習の実施状況に合わせたグループ学習及び小テストを行う。
後期：出題基準に沿って教科書を中心にプリント、プロジェクター等を用いて講義形式で行う。

◆評価方法

前期の小試験、中間試験(授業内)、定期試験による総合評価。

◆教科書

臨床検査学講座 『免疫検査学/輸血・移植検査学』 医歯薬出版(株)

◆参考書

臨床検査技師国家試験問題集 日本臨床検査学教育協議会編 医歯薬出版(株)
臨床検査技師国家試験ファースト・トレーニング 医歯薬出版(株)
臨床検査法提要 金井正光 編著 金原出版

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	輸血と免疫検査	輸血前検査（血液型検査、不規則抗体検査）	専任教員
2		血液媒介感染症の検査	
3	輸血の安全管理	輸血療法の意義と適応	〃
4		血液製剤の保存と管理	
5	移植の免疫検査	移植前検査	〃
6		造血幹細胞移植	
7	妊娠・分娩の免疫検査	免疫学的妊娠反応	〃
8		血液型不適合妊娠	
9	検査結果の評価と対策	検査結果の評価	〃
10		評価に対する対応と対策	